

令和2年3月19日

能美市議会議長

居村 清二 様

議会運営委員会

委員長 杉田 隆一

議会運営委員会行政視察報告書

1. 期 間：令和2年1月21日(火)～23日(木)
2. 視察先：埼玉県鶴ヶ島市・東京都町田市・群馬県桐生市
3. 目 的：埼玉県 鶴ヶ島市（政策提言と政策説明会について）
東京都 町田市（住民参加型の議会について）
群馬県 桐生市（条例提案・政策提言について）
4. 参加者：杉田 隆一、田中 策次郎、倉元 正順、山本 悟、仙台 謙三
（随員 議会事務局）田甫 武文事務局長、杉林 功邦課長

5. 視察概要

議会改革度ランキングの上位である市の先進的な取り組みに加え、特徴ある議会の取り組みを学ぶべく「政策提言」「政策説明会」「反問権」「市民と議会の懇談会」「電子表決」「タブレットの導入」「条例提案」「議長記者会見」「議会モニター制度」などについて視察研修を行った。

調査で得られたものを議会運営委員会の中で検討し、今後の能美市議会運営に反映させていく。

6. 報 告

●埼玉県 鶴ヶ島市

鶴ヶ島市では、年に8回の政策説明会を行っており、うち4回は議会会期中に、また4回は政策説明会を単独で行っている。平成20年に埼玉県で初めての政策報告会（議会報告会）を行っており、早くから市民との意見交換や情報共有について力を入れているとの説明を受けた。市議会として「市民の意見を反映して政策提案を行っている」と市民に向けて発信し、市民との意見交換する機会をつくり市政参画に取り組んでいる。しかし、市民の政治参加や報告会への参加率の低下が課題となっている状況もみられた。

また議会基本条例の中に反問権（執行部からの質問権）を明記しており、議員の自らの質問の責任と質の向上を目指している。しかしながら正式に反問権が行使されたことはなく、反問権の条文を明記する事によって議員質問に対して議員各自の意識の向上が得られているとの説明を受けた。

平成21年から議員間の自由討議が活発に行われており、委員会中や委員会後に委員長提案で自由討議に入る事ができ、自由闊達に発言を求めることを目的としているため議事録に残さない形式をとっているとの事であった。

●東京都 町田市

町田市では議会への住民参加を目指し、その指標として年間傍聴者1000人を目指し、実際に1000人超えが実践されている。具体的な取り組みとしては、

- 傍聴受付簿を廃止し、傍聴しやすく個人情報にも配慮した。
- 全員協議会・議案説明会の公開、請願者の意見陳述を委員会開催中に行える。
- 町内会・自治会に「議会傍聴に行こう」のパンフレットを配布
- 市内民間バスやコミュニティバスに「市議会を開きます」のポスターを掲示
- 全新人職員に本会議一般質問の傍聴研修の実施
- 議員間討議を委員会の請願審査に導入
- 電子表決の開始や庁舎内ロビーでの本会議生中継
- 市議会だよりをスマートフォンでの配信とスーパーマーケットでの配布等々、能美市議会でも検討し取り入れていくに値する例も多かった。

また、タブレットの導入も行っており職員や執行部の仕事量の軽減や資源の減量

など費用対効果からも早期の導入を勧められ、導入の必要性を強く感じた。

●群馬県 桐生市

桐生市では「子ども基金条例」や「SDGsのまちづくり条例」などを議会から提案を行っており、条例提案・政策提言の先進事例について学んだ。

基本的に各常任委員会で検討協議し条例案の上程を行っており、特別委員会に付託されたものについては議会運営委員会で上程することもあると言う事で、これは党派会派に関係なく属している常任委員会の機能強化を図り、任期中に条例案や政策提言など形のあるものを残して欲しいとの議長の思いから勧められている。ただし、実現可能性が無いものや目的が希薄であってはならないため執行部との意見交換が重要であるとの事であった。

特徴的な取り組みとしては議長記者会見を行っており、議会改革を進める中で、議会が取り組んでいる最新の情報を市民に伝えることを目的に情報発信の一環として行っている。委員会提出議案などは所管の常任委員長が詳しく説明できることから委員長が記者発表する場合もあるとの事であった。

また、市民の声を積極的に聞き、それらを市政や議会運営に反映するために意見提出手続きを公開でおこなっているほか、議会モニター制度を取り入れ、10代から40代の男女を選任し寄せられた意見や提言等を市政や議会運営に反映できるような取り組みを進めている。

このような取り組みが評価され、桐生市はマニフェスト大賞特別賞を受賞している。

●所 感

今回、それぞれ特徴のある自治体から多くの事を学ぶ事が出来た。議会改革の取り組みとして大切なことは、市民の声を聞く機会の創出をこれまで以上に工夫し、市民の声を政策実現出来るよう議員間で討議を重ね、それら議会での取り組みや活動を、いかに市民に向けて発信していくかが大切であるかを再認識できた。取り組みについては予算のかかるものも多くあるが議員同士の知恵と努力によって成し遂げられる事例も多くあった。今後は、学んだ先進事例を議員間で協議検討する時間を多く作り、取り組みを実現していきたいと考える。